

濃^{のう}尻^び平^{へい}野^のの



農^{のう}業^{ぎよう}を^{まも}守^もれ^れ!! の^{まき}巻^{まき}

ぐるぐる委員会って？

自然^{しぜん}や農業^{のうぎよう}のことを調^{しら}べるのが
大好き^{だいすき}な3人^{にん}(?)組^{ぐみ}。
最初^{さいしょ}の発見^{はっけん}が水^{みず}の循環^{じゆんかん}(ぐるぐる)
だったので「ぐるぐる委員会」
っています！



ぐりドリラー

いつもは土^{つち}の中^{なか}で寝^ねているドン
グリ。頭^{あたま}についてるドリルで
土^{つち}の中^{なか}をウロウロしているらし
い。ぶっきらぼうだけど、やさ
しいところも……？



パッカ

いつも明る^{あか}く元氣^{げんき}いっぱい。泳^{およ}
ぐのが得意^{とくい}で、とても速^{はや}く泳^{およ}げ
るけど、息^{いき}つきはできない。
1万^{まん}年^{ねん}以上^{いじょう}生きてるけど、こ
どものまま。



ザリー

とてもやさしくて、しっかりもの。
いつもは田^たんぼにいてのんびり
しているのが大好き^{だいすき}。後^{あとし}ろ向^{むか}
きに泳^{およ}ぐから、よく道^{みち}に迷^{まよ}う。
アメリカ^{あめりか}生まれのザリガニ。

その1 濃尾平野の農業はスゴイ!

みんなは、なぜ食べ物を食べるのか?って考えたことがありますか?
 お腹がすくから?おいしいから?もちろんそうです。だけど、もっと正しく言うと「食べないと生きていけないから」ですね。そう!私たちは、生きていくためのエネルギーを食べ物から、もらっているんです。濃尾平野では、たくさんのお米や野菜、果物がつくられています。この大きな平野で暮らしているたくさんの人の命を支えているのが、ズバリ「農業」なんですね!



田植機って、
ロボット
みたいだ!



田植えの様子。濃尾平野の田植えは、5月～6月にかけて行われます。



鉢花のカーンコエ。全国トップクラスの生産量です。他に製品サボテンやミニチュアローズ、セントポーリアの生産も盛んです。



有機肥料を利用したほうれんそう栽培。



濃尾平野では、ハツシモ、コシヒカリなどのお米が栽培されています。



古くから栽培されているニンジン。各務原市の東部に位置する鶴沼地区は、岐阜県内最大のニンジン産地です。



明治時代から作っている世界最長のだいこん「守口だいこん」。長さは1m以上、直径は3cm前後。



「やくみ大根」や「祝だいこん(関西の雑煮用)」など、新しいだいこん商品の開発・栽培にも取り組んでいます。



いちごの栽培。岐阜県のいちごは50%以上が濃尾平野で作られています。



柿の栽培。果物の栽培も盛んに行われています。

とれたての
野菜だ!
おいそう!



J A (農協)の直売所では、毎朝、新鮮な野菜が売られています。

きれいな
田んぼだなー



でも、このように農業ができるようになるまでは、何百年っていう長い長い時間がかかっているんです。お百姓さんの苦労は、大変なものでした。なぜって?それは……。

というわけで、ぐるぐる委員会、濃尾平野の調査をスタートだっ!

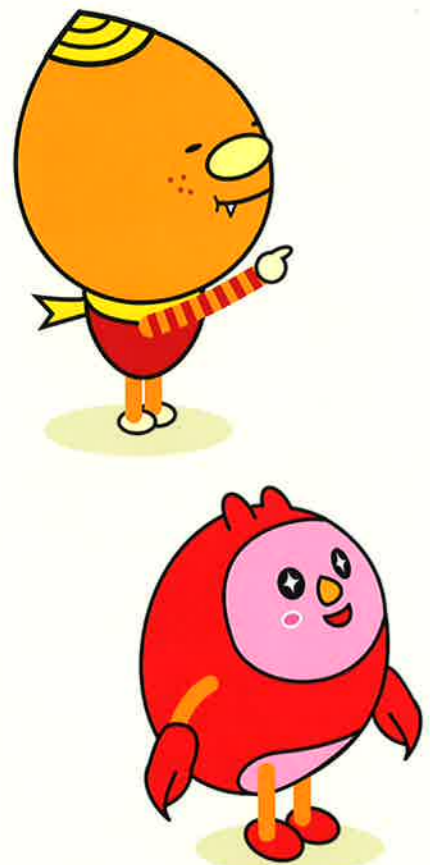


いくぞー!

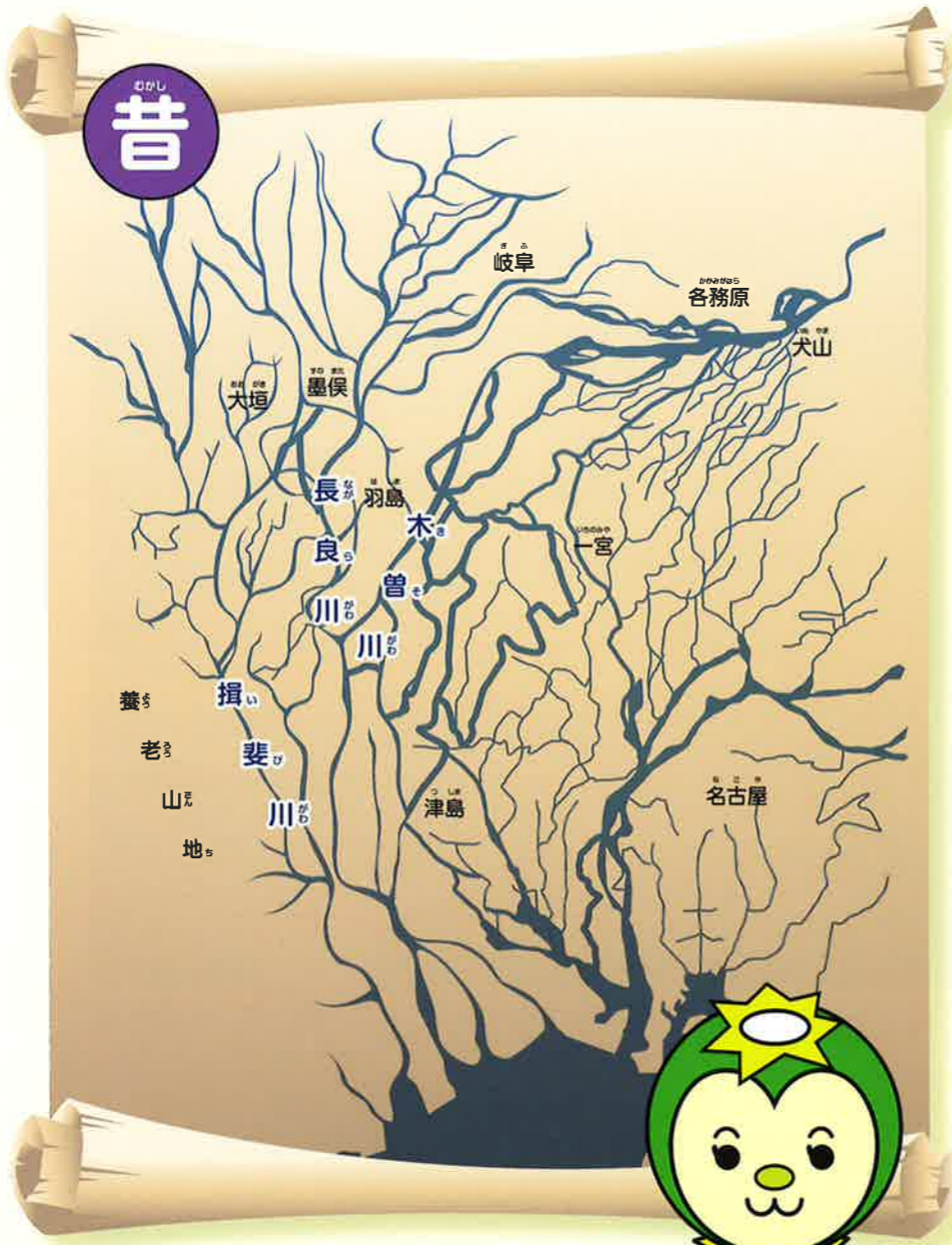
その2 木曾三川はつながっていた!?

昔のお百姓さんはどうして大変だったのか?
 その答えは、濃尾平野を流れている3本の大きな川にありました。
 濃尾平野を流れる大きな川といえば、木曾川・長良川・揖斐川ですね。
 この3つの川は、合わせて「木曾三川」と呼ばれています。
 でも、ちょっと下の地図を見て下さい。昔と今ではずいぶん様子が違うみたいですね。

見てみる。昔の川の流れて、ぐちゃぐちゃで迷路みたいだぞ。



変ねえ。木曾川、長良川、揖斐川がみんなつながっているわ。



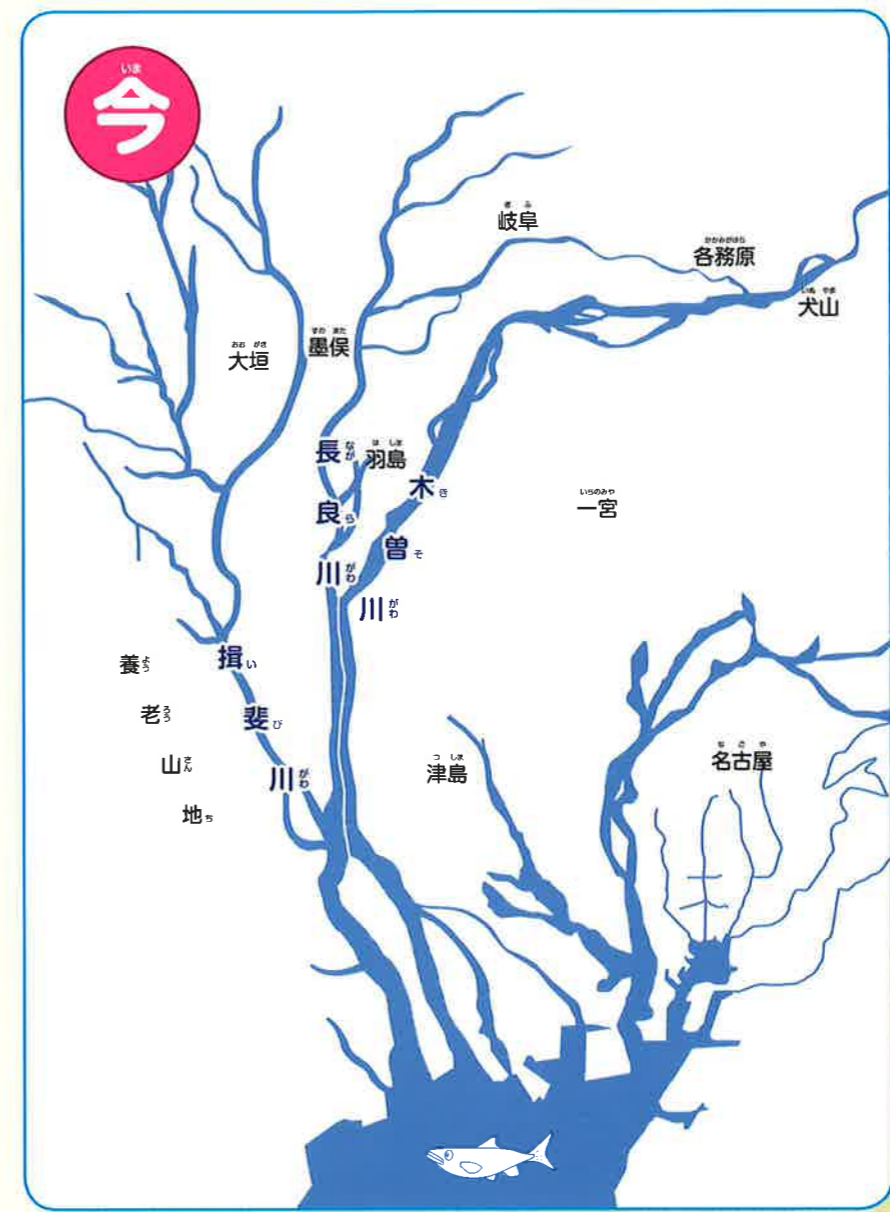
エッヘン！ボクは1万年も生きているから覚えているよ！このあたり、昔は泳ぎにくかったんだ。



木曾三川には、右の地図のように長野県・岐阜県・滋賀県・愛知県・三重県に降った雨が集まることができます。とっても広い範囲ですよ。
 このため、昔から大雨が降った時には、川には大量の水が集まり、洪水を繰り返していました。



木曾三川に水が集まる範囲



中でも、3本の川が海へと流れ込む下流の土地は、海面と同じくらいの低い土地です。たくさんの水が集まる大雨の時には、洪水が起こりやすい場所でした。

洪水が起こり、川の水があふれ出すと、その度に、川の流れが変わってしまいました。そのため、木曾三川は、左の図のように、たくさんの小さな流れが枝分かれしながら、迷路のようにつながっていたのです。

こんな網の目のような川だから、一度、洪水が起きると、周辺が水びたしになってしまいました。

せっかく、お百姓さんが苦労して育ててきたお米や野菜も、洪水が起きたらみんな流されてしまいますよね。

濃尾平野で、今のような農業ができるようになるためには、まず、木曾三川の洪水をなんとかしなければいけなかったんです。

洪水の多かった濃尾平野。でも江戸時代にスゴイ堤防が造られたらしい!



その3 ビックリ! 尾張国の大堤防!

木 曾三川の中でも、一番大きな川、木曾川は、昔から、尾張国（愛知県）と美濃国（岐阜県）の境となっていました。

どちらの国も同じように洪水に困っていましたが、江戸時代の初め、日本で一番えらかった將軍徳川家康の命令で、尾張国には木曾川に沿って、国をぐるりと囲む大きな堤防がつけられました。

その名も「御田堤」!!

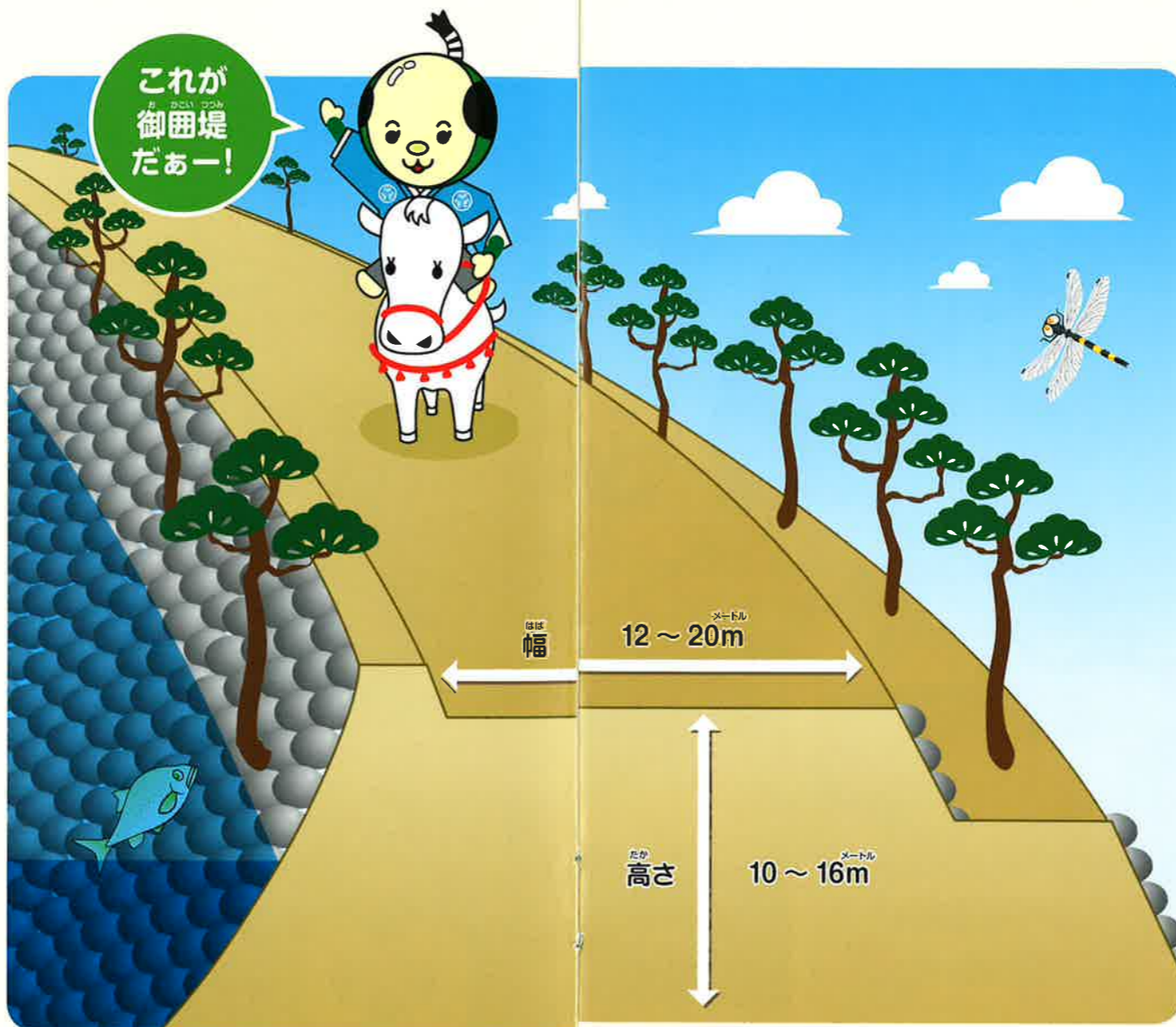
この大きな堤防ができてから、尾張国では、洪水の被害がすいぶん減りました。



尾張国と美濃国



今も残る御田堤の跡



こんなにたくさん! (So many!) (Character: Pink pig)



おにぎり1個分のお米を作るために、500mlのペットボトル約550本の水が必要なんだって!

洪 水の被害が減って、尾張国の人たちは、みんな大喜びでした! でも……困ったこともありました。木曾川には、枝分かれして流れる小さな川がたくさんありましたが、御田堤が木曾川とその小さな川を切り離してしまい、小さな川には水が流れなくなりました。尾張国のお百姓さんたちは、この小さな川の水を使ってお米をつかっていました。水がないとお米はつくれなくなってしまいます!

そ こで、尾張国のお殿さまは、木曾川に水の取り入れ口をつくり、田んぼまで水を引いてくる水路をつくりました。



木曾川の水路と田んぼ

お 百姓さんたちは、その後もがんばって水路をつくり、田んぼをどんどん増やしていきました。こうして、尾張国では、お米がたくさんとれるようになっていったのです。



あっ! 上の写真見てよ! これが御田堤の跡だよ!



江戸時代につくられたわけだから……ウソー!! 400年も残ってるなんて、スゴイ!!

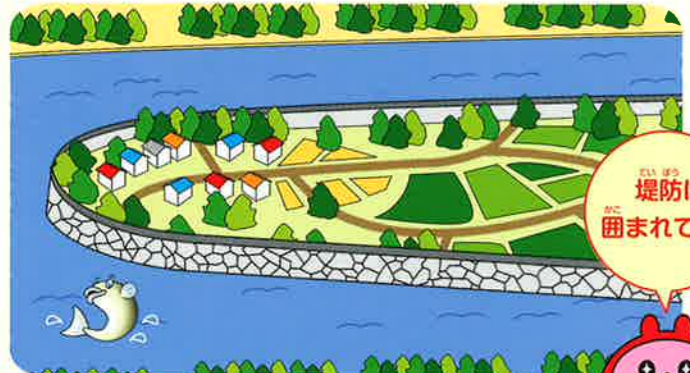


国をぐるっと囲むから御田堤っていう名前なんだな。ブルドーザーやショベルカーもない時代に、こんな大きなものを、全部人の手でつくったのか!

めでたし! めでたし!! ……って、美濃国はどうだったの?

その4 長い長い闘い、洪水と美濃国

一方、木曾川をはさんで尾張国の反対側だった美濃国では、御囲堤という大きな堤防がつけられたことで、ますます洪水が起こりやすくなってしまいました。大雨が降ると、木曾川の水は、すべて美濃国の方へとあふれてしまうようになったのです。困った美濃の人たちは、村の回りに洪水から身を守るための小さな堤防をつくり、輪のように囲みました。これを「輪中」といいます。輪中は、明治時代には80以上もありました。輪中の村では、下の説明のように家を高くして「水屋」にしたり、田んぼを高くして「堀上げ田」にしたりと、洪水に備えて色々な工夫をしていました。



輪中の村のイメージ

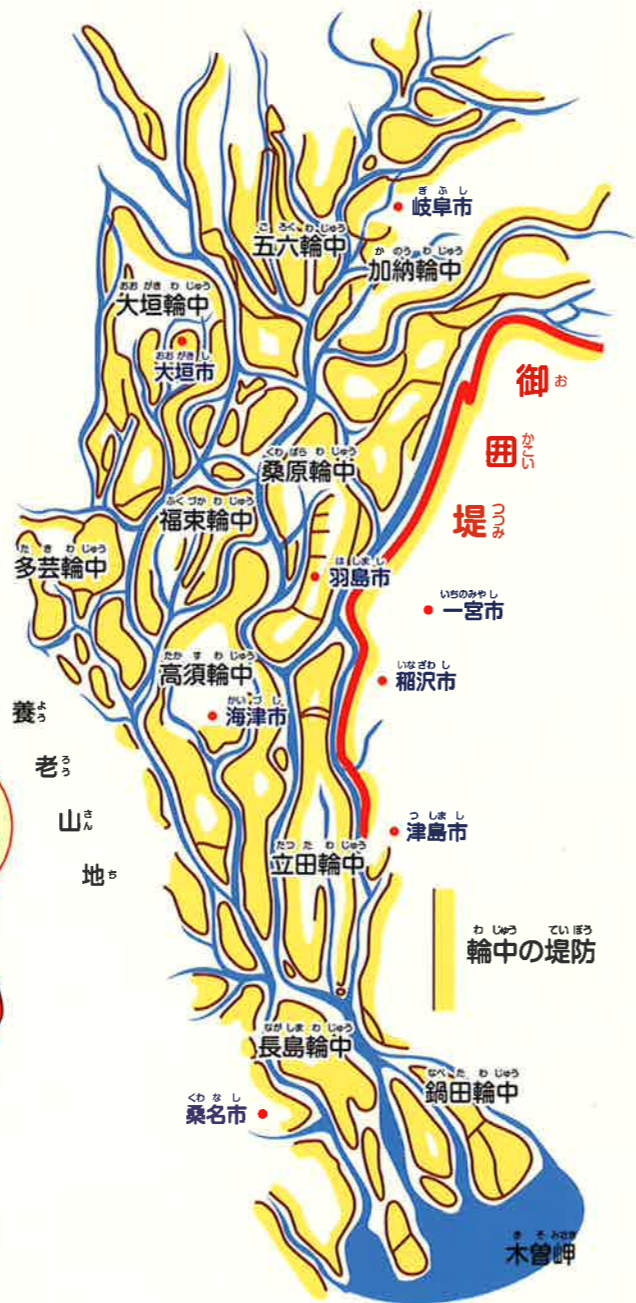
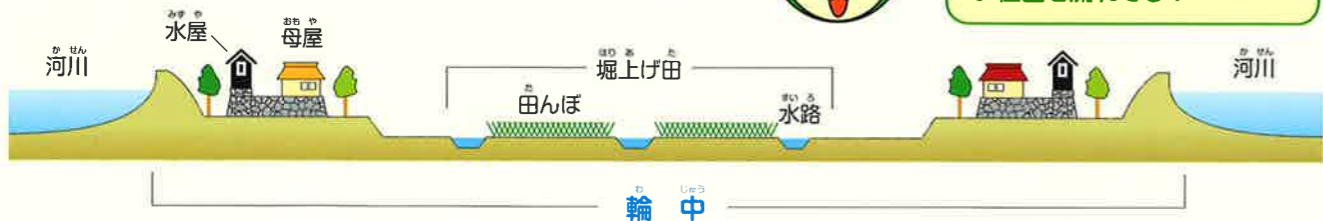
堤防に
囲まれてる!



堀上げ田
洪水が起きた時、田んぼが水に浸からないように、土を盛って高くしています。土を掘ったところが、水路になっています。



水屋
洪水が起きた時のために、高い石垣を積んだ上に家が建てられています。いざという時のための食料や、舟などが用意されていました。



輪中を横から見ると、川の方が、輪中の土地よりも高い位置を流れてる!

美濃国では1600年から1900年までの300年間に298回もの洪水が起きました。なんとか洪水を防ごうと、江戸時代の終わりには、幕府の命令を受けて遠い九州の薩摩国(鹿児島県)からお侍さんたちがやってきて、木曾三川を分けるための大工事を行いました。



あまりにたいへんな工事だったため、157人も人が病気で倒れ、33人の人が亡くなったと言われています。

しかしながら、木曾三川は完全には分かれず、洪水はなくなりませんでした。



幕府のひどい工事のやり方に抗議して、51人のお侍さんが切腹をしたそうです。木曾三川公園の近くにある治水神社には、この工事で犠牲になった人たちがまつられています。



現在の木曾三川

明治時代になって、今度は、オランダ人の技術者ヨハネス・デ・レーケさんの力を借りた大工事が始まりました。外国の最新技術を使ったこの工事は、大正時代の初めに完成します。



ヨハネス・デ・レーケ

木曾川、長良川、揖斐川の3本の川は、やっと今のような姿で流れるようになったのです!

濃尾平野って、尾張国と美濃国とで全然歴史が違うのね。



でも、これで洪水がなくなって、美濃国でもついに、安心して農業ができるようになったんだな!



よーし! ボク、決めた! 濃尾平野を探検するぞ!! みんな、ついてこーい!



今の濃尾平野は、どうなっているのかな? 調査マップをめぐってみてね!